

# 令和元（2019）年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」 （住まい活動助成部門） 中間報告

## 団体名

NPO 法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会

## 活動のテーマ

地域の宝、歴史的建造物である「竹内農場西洋館」の保存に向けた手づくり冊子の作成活動

## 9月までに達成できた事項(箇条書き)

- 冊子委員会を立ち上げ、冊子の大きな概要と作業分担を決めた。  
以後、毎月冊子委員会を行っている。
- 龍ヶ崎市教育委員会に調査資料の転用許可と協力を依頼し了承を得る。転用については随時相談
- 竹内明太郎の足跡調査のためコマツ栗津工場を訪問及び小松市遊泉寺銅山跡を視察した。  
(金沢でイベントが行われたため、計画外のプラスαとなる調査)
- 高知県宿毛市にて竹内明太郎日記の調査を行った。
- 茨城無煙炭鉱の資料調査（主に図書館）
- 西洋館最後の居住者真中さんから聞き取り調査を行った。
- 上敷免製煉瓦についての執筆を深谷市教育委員会文化振興課 幾島審さんに依頼し、了承を得た。
- 下記出来上がった草稿を出し合い、意見交換を行った。  
① 女化原開拓の歴史(立地について) ② 竹内農場の歴史 ③ 竹内綱および竹内明太郎について  
④ 竹内鉱業について ⑤ 茨城無煙炭鉱について ⑥ 今後の対策について（全体の50%程度）

## 今後の活動予定と令和2年3月末時点の達成予定項目

11月中に下記残りの草稿が完了

- ① 竹内明太郎別荘の現状 ② 竹内農場と竹内明太郎別荘の概要
- ③ 建築の特長 ④ 庭園設計について ⑤ 住居者との対談 ⑥ 編集後記

11月中に刊行の言葉（龍ヶ崎市長）を依頼する

12月中に全体の構成と文章の校正を完了する

12月7日 関連事業「竹内農場西洋館フォーラム」を開催

2月中旬までにレイアウトを完了する

2月末までに印刷を発注する。

3月末の到達予定

冊子「竹内明太郎が残したもの～龍ヶ崎の赤レンガ西洋館（仮題）」約36ページ構成7,000冊の製本が完了

市内公共施設への配布を完了。（近隣及び遠方は4月以降の配布予定）

## NPO 法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会

(活動の目的)

龍ヶ崎市内に点在する古くて価値ある建造物の保存を推進し、そうした建造物を生かしたまちづくりへの貢献を目的に活動しています。

(これまで行った主な事業)

- 平成14年～18年 旧小野瀬邸（現登録文化財）の保存推進を行いました。（任意団体時代）
- 平成18年～27年 諸岡邸赤レンガ門塀（現登録文化財）の移築事業を行いました。（赤レンガ保存実行委員会として）

(現在取り組んでいる主な保存推進事業)

- 竹内農場西洋館の保存推進を行っています。
- 筑波庵（杉野翠兄旧宅）の保存推進を行っています。

### 活動のテーマ

地域の宝、歴史的建造物である「竹内農場西洋館」の保存に向けた手づくり冊子の作成活動



大正9年竣工当時の竹内農場西洋館

### 助成対象 活動に至った理由や背景

大正9年、竹内明太郎（コマツ等の創業者）が自らの別荘として建てた赤レンガ西洋館は、美しく、意匠に凝っていましたが、竣工から1世紀が経過し、今は見る影もなくレンガ壁と御影石の土台を残し廃屋となっております。この歴史ある西洋館の敷地が太陽光発電業者に買収され、存続が危うくなりました。これを受け、当NPO法人はこの建物の史跡として、文化財としての価値をアピールするなど保存運動を行っています。

一方、龍ヶ崎市は太陽光発電業者から敷地を借受け、開発をストップさせ、建物の調査と歴史的な背景の調査を行いました。その過程でレンガの産地が上敷免製（深谷市）であることが分かり、また歴史的にも貴重であると前向きに保存を検討しています。

現在、市と当NPO法人は情報を共有し、イベントを共同で開催するなど、保存することの意義を市民に向けて情報発信しています。

その一環として体系的な冊子「竹内明太郎が残したもの～龍ヶ崎の赤レンガ西洋館（仮称）」を制作し、市内及び近隣の公共施設等への無料配布を行い保存推進の大きな役割を果たしたいと思っております。



現状の竹内農場西洋館

### 9月までの 活動の進捗状況

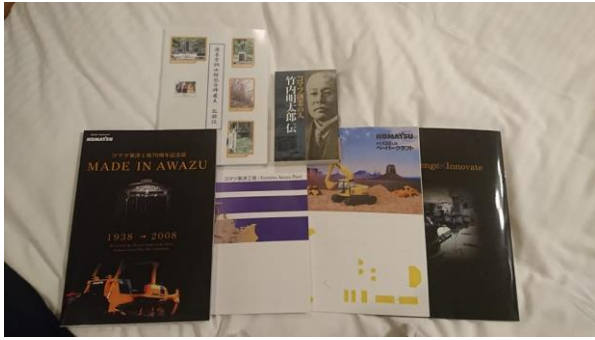
4月2日 冊子編集委員会を立ち上げました。

第一回、編集会議では、冊子構成と役割分担及び今後のスケジュールを決めました。

その後、毎月冊子編集委員会を行って、それぞれの進捗状況を確認しております。

(写真右)





5月24日 竹内明太郎の足跡を調べるため、コマツ粟津工場及びこまつの杜を訪問しました。  
 コマツより竹内明太郎伝や遊泉寺銅山記念誌などたくさんの資料をいただきました。  
 (写真左)

5月26日 世界のコマツの創業の地である遊泉寺銅山（竹内明太郎運営）跡を視察しました。  
 (写真右)



6月12～15日 竹内明太郎の出生地宿毛を訪れ、まち歩きました。また、市立歴史館に保管してある、竹内明太郎日記を、特に大正以降を中心に調べました。  
 (写真左)

8月 図書館にて茨城無煙炭鉱（竹内明太郎運営）の資料を調べました。  
 (写真無し)

8月7日 冊子製作のために、改めて西洋館を細部に渡り調査しました。(写真無し)

8月19日 戦前から昭和27年まで西洋館に住まわれた、真中ハツさんと対談しました。  
 (写真右)



## 今後の活動予定

冊子「竹内明太郎が残したもの～龍ヶ崎の赤レンガ西洋館（仮題）」7,000冊の完成に向けて全力で取り組みます。

12中に全体の構成と文章の校正を完了させます。2月中旬までにレイアウトを完了させます

2月末までに印刷を発注し、3月中旬に市内の公共施設に配布します。

関連事業として、12月7日（土）市・教育委員会の協力の下、「竹内農場西洋館フォーラム」を開催します（写真右）。

